

お知らせ

メルセデス・ベンツ レンタカーで沖縄の自然保護を支援

2009年7月14日

- ・ メルセデス・ベンツ専門レンタカー会社 ランデック沖縄に100台を納車
- ・ レンタル料金の一部を、沖縄県の珊瑚礁保護活動に寄付

メルセデス・ベンツ日本株式会社(以下 MBJ、社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区)は、株式会社ランデック沖縄(以下 ランデック、会長:築田満、本社:沖縄県豊見城市)にメルセデス・ベンツ100台を納車しました。

納車した100台は、メルセデス・ベンツの中核モデルを始め、カブリオレやSUVなども加わった多彩なラインナップとなっています。MBJでは、沖縄を旅するメルセデス・ベンツオーナーの皆様に乗れなれた車で安心してドライブを楽しんで頂くと共に、幅広いお客様にメルセデス・ベンツを体験して頂くことを期待しています。

7月13日のオープニングセレモニーで、MBJ営業マーケティング担当副社長 上野金太郎とランデックの築田会長は、「かけがえのない沖縄の自然を未来へ引き継いでいくために、ランデック沖縄の売り上げに連動して沖縄県の自然保護活動に寄付をしたい」と宣言しました。

なお、本レンタカーはメルセデス・ベンツ正規販売店「メルセデス・ベンツ沖縄」がメンテナンスをサポートします。

ランデック沖縄ウェブサイト: www.landec-rentacar.com/

添付:写真



(株)ランデック沖縄 勝社長(左)、MBJ 副社長上野(中央)、(株)ランデック沖縄 築田会長(右)